

2023年3月31日 木村雅英

東電福島第一原発(イチエフ)事故後12年。去る3月20日にイチエフを見学させていただきました。福島が全く終わっていないことを実感・再確認しました。

国道6号から広大な中間貯蔵エリアを通り過ぎてイチエフ構内に入り厳重なチェックを受けてゲートを通って大型バスでイチエフ敷地を循環。350万平方メートルと言われる広い敷地には、多くの窓が少ない建物や工場の様に見えるALPS他の大きな装置、南側のタンク群とともに北側の丘陵と事故直後から放置されている廃棄物、…など。そして海に面する1号機～4号機をすぐ近くの高台から見て説明を受けているとピーピーと線量計が鳴り出す。

製造業に居て市場に送る製品を製造する工場を見てきた私には、何も生産せずに二次被害を防ぎ姿も時期も見通せない「廃炉」の為に被曝しながら働く4400人の方々に同情し、東電の電気を使っていたユーザとして申し訳ないと思いました。チェルノブイリでもスリーマイルでも、このような人類の負の遺産の為に働く人々が居るのだと実感しました。

今回は、この見学に基づいて質問します。

質問1【全般】原子力改革でなく原子力離れを

これだけの事故を起こし、多くの労働者に被曝させて見通しが見えない作業を強いている東京電力が、相変らず未だに原子力発電に執着していることが全く理解できません。

質問1-1 原子力規制委員会前委員長更田氏が「あれはあれ、これはこれ、とは行かない」と言っていた様に、福島第一原発の収束作業に専念し柏崎刈羽の稼働を断念して再生可能エネルギーに注力すべきと多くの東電社員が考えているのではありませんか？

質問2【東電の原発推進政策】

質問2-1 前回の質問に対し「世界的なカーボンニュートラルの流れの中で、電力の安定供給や温室効果ガスの排出削減、経済性の観点から、安全性の確保を大前提として、原子力発電が必要と考えております。」と回答されました。

皆さんに原発推進の口実を与えるIPCCでさえ、第6次評価報告書に図のグラフを掲示しているそうです。原子力発電が他の発電手段と比較してCO2削減に寄与しないことを表しているのではありませんか？

前回のご回答を撤回されますか？

質問2-2 賠償と原発投資

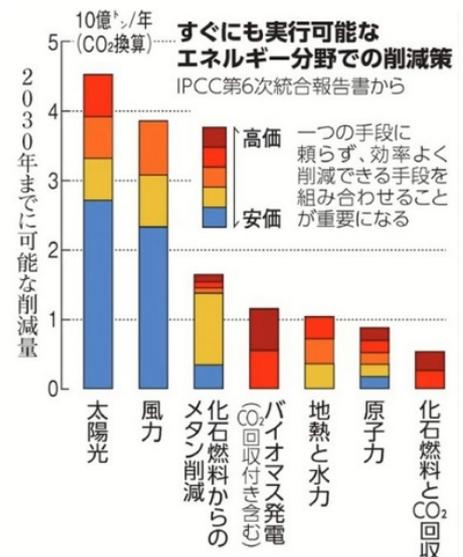
東電がいくつかの損害賠償裁判で上告を断念したと聞きました。当然とは言え、胸をなでおろしています。引き続き、「3つの誓い」の厳守をお願いします。

質問3【放射能汚染の影響】

質問3-1 イチエフ放射能汚染の実態

前回のイチエフからの「各年の気体・液体・固体の年間推定放出量」についての質問に答えられませんでした。再度お尋ねします。

例えば、事故直後の放射性物質の放出量は、大気中だけで 1.5×10^{18} 乗で広島原発168発分だそうです。私が確認したいことは、その後各年でどれくらいの放射性物質を大気・海・大地に流してしまったと推定しているかです。加害企業としての当然の責務を果たしてください。



質問 3-2 イチエフ放射能汚染水の実態

放射能汚染水については、地下水の流入・汚染水増とタンク保管・サブドレインなどからの海洋流出など、より複雑です。前の質問に加えて、月単位で水と放射性物質の収支を定量的に説明してください。これも加害企業としての当然の責務だと思います。

質問 3-3 イチエフ廃棄物の実態

エネ庁資料に廃棄物保管量 48 万 m³ (2021 年 3 月)、当面 10 年発生 79 万 m³とされています。これらと焼却・減容処理の計画について最新情報を教えてください。

質問 4 【イチエフ汚染水対策】 汚染水海洋投棄(「海洋放出」)計画

イチエフ見学を踏まえて追加質問します。

質問 4-1 前回「毎年度末に、年間トリチウム放出量になるべく少なくなるよう、次年度の放出計画を公表する予定」と答えられました。それだけでは計画と言えません。現在から 2030 年までの各年の汚染水保管量と汚染水放出量の推定値を明示してください。

質問 4-2 東電のポータルサイトのタンク容量図が変更され、3 か月毎の推移もつかめません。告示濃度階層ごとの保管量・放出量を分かりやすく明示してください。前回指摘した様に、昨年 9 月末から本年 1 月 26 日までの 118 日間に 39572 立法メートル増えており、私は貯蔵量が一日 335 立法メートル増えたと推計しました。東電の地下水流入目標値一日 140 立法メートルの 2 倍以上です。この推計が間違っているのであれば、より分かりやすく認識できる正確なデータで説明願います。

質問 4-3 見学時に、サブドレイン汲み上げ水について、その量は一日 300 ~ 1000 立法メートルであり、放射能汚染しており、そのまま海に放出している、と聞きました。詳細をお聞かせ願います。今も福島近郊で海底土が汚染されている原因にもなっているのではありませんか？

質問 4-4 世界三大漁場のひとつである北西太平洋漁場をこれ以上汚してはいけません。

3.11 前後の全国の多くの集会で「海洋放出」反対の声が上がり、例えば「2023 原発のない福島を！ 県民大集会」(3 月 19 日)には一千人が集い「ALPS 処理水海洋放出」反対アピールが決議されました。抗議のハガキなど反対の声が東電にも伝わっているはずですが。これらの反対の声をどう受け止めていますか？

質問 4-5 新地漁協組合員の方が「海はすべての命の源！ 海はオレたち漁師の仕事場だ！」と海洋投棄反対を訴えています。特に、「魚は産卵時期に沿岸に来る。だからもろに被害を受ける。どんな魚だって産卵するためにプランクトンのいる沿岸に来るんだ」は私には考え及ばなかったことです。東電の皆さんはこれらの指摘に対してどう答えますか？

質問 4-6 了解が得られていないにも拘らず、「引き続き、地元の皆さま、漁業関係者の皆さまをはじめ関係する皆さまに対し、ALPS 処理水の取扱いに関する当社の考えや対応について説明を尽くし、継続して皆さまのご懸念やご関心に向き合い、一つひとつお応えしていく」との前回の回答。またまた経産省のやり口、補助金などで押さえつけようとしているのではありませんか？

そうしないで「海洋放出」を断念することを強く求めます。

質問 4-7 実際に現地を見て確認できました。広大なイチエフの北側にはまだまだ緑の丘があり、事故直後から放置された機器類や汚染物質があり、片づければタンク増設が可能なことも。また、今回見ていませんが、廃炉が確定している福島第二の敷地にもタンク増設が可能でしょう。もう一度、半減期 12.3 年のトリチウム汚染水をタンク保管することを再検討してください。

質問 4-8 放射性物質の汚染は総量で規制するべきであり、トリチウム以外のすべての核種について評価するべきです。前回に「ALPS 処理水の海洋放出にあたっては、トリチウム以外の放射性物質の濃度について、環境へ放出する際の規制基準を確実に下回るまで何度でも浄化処理を行い、トリチウム以外の放射性物質が希釈前に規制基準値(告示濃度比総和 1)未満となることを、測定・確認

用設備にて確認した上で、放出する設計・運用とする計画」と回答されました。しかしながら、タンク群は敷地南側にあり、海洋放出の為の立坑などがより北側の5, 6号機の海側にあり、タンク=>ALPS処理=>放水立坑までの汚染水の移送をどの様に実現するのか心配です。敷地内に沢山のパイプがありましたが、汚染水の移送方法を分かりやすく説明願います。

質問4-9 告示濃度比総和1未満を実現し確認する為にどの様に処理しどの様に検査して「放出」する計画なのか、再確認させてください。

質問5【イチエフ事故責任】

廃炉資料館で図のパネルを説明されました。

質問5-1 「安全は万全でなかった」項目に地震対策が無いのはなぜですか？

国会事故調査委員会の報告を見るまでも無く、地震対策も非常に重要で、これを隠している様では、本当に反省し教訓を得ているのか疑わしいと思います。また、現在のイチエフの安全性も地震対策が最も重要だと思います。考え直してください。

質問5-2 それでも心から「反省と教訓」を考えているのであれば、柏崎刈羽原発を動かそうとしたら、東海第二原発の災害対策費を前払いすることは許されません。

12年経っても今の状態？ 東電全社で「反省」をし「教訓」を学んで原発を諦めてください。

質問5-3 毎回書いていますが廃炉ロードマップは直ちに直すべきです。経産省がGX推進や東電法案審議中ゆえか、この問題を隠し通していることは許されません。

質問6【イチエフ事故原因追求】

質問6-1 国会事故調査委員会で指摘された地震による配管破断について「事故進展に影響のあるようなものはなかったと考えております」と回答されました。その根拠を示してください。

質問7【柏崎刈羽原発について】

質問7-1 前回口頭でお尋ねしたのですが、各号機の使用済み燃料プールの状況(容量と空き)を教えてください。

質問7-2 「3号機申請に2号機のコピー131か所」流用について

これは非常に重い人為的不正だと思います。にも拘らず「本件は、担当部長やグループマネージャーに対し所長から口頭で厳しく指導しました」(前回回答)で終わらせたのはなぜですか？

東電はトップから末端まで腐っているのではありませんか？

質問7-3 7号機南の大穴について

直径100mの大きな穴が確認されているにも拘らず「回答は差し控え」ては困ります。周辺住民も注目している問題です。丁寧に説明願います。

質問8【最後に】

タービンを回して電気を得るために、核分裂を起こして地球上に大量の放射性物質をまき散らし核のゴミ(死の灰)を貯めこみ、数多の生物に危害を与える「海温め装置」・原子力発電は直ちに止めるべきです。ひとたび原発事故を起こせば多くの命を奪い膨大な「国富の流出」を招きます。東京電力が福島第一原発事故後の処理に注力し、総ての原発を廃炉にすることを願っています。

地球上の総ての生き物に傲慢でない施策を求めます。納得できる回答をお願いします。

以上

反省と教訓

1. 安全に対するおごりと過信 <1:23>
2. 安全はなぜ万全ではなかったのか？
 - ①津波対策 <4:01>
 - ②過酷事故対策 <2:04>
 - ③事故対応の準備不足 <1:12>
3. 負の連鎖を断ち切る事 <2:21>
4. 私たちの決意 <1:24>